

## 各 位

会 社 名 株 式 会 社 倉 元 製 作 所  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 聡  
( JASDAQ ・ コード 5 2 1 6 )

問 合 せ 先  
役 職 ・ 氏 名 取 締 役 経 営 企 画 室 長 田 村 達 朗  
電 話 0228 32 5111

## 連結子会社 2 社の合併に関するお知らせ

平成 18 年 11 月 8 日開催の当社取締役会において、当社の連結子会社である株式会社倉元マシナリーと三友商鋼株式会社の 2 社を平成 18 年 12 月 11 日付にて合併することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 合併の趣旨

当社の連結子会社である(株)倉元マシナリーと三友商鋼(株)は、倉元グループ内において「金属加工」の技術領域を共有しております。

(株)倉元マシナリーは、産業用自動化・省力化機械の設計・製作およびこれに関わる部品の製造・販売を行っており、現在は当社が発注する液晶ディスプレイ用ガラス基板加工機械の設計・製作を主力としております。また、三友商鋼(株)は、関東圏を中心とした射出成形メーカーや金型メーカー向けに、モールドベース<sup>1</sup>の加工・販売を行っており、現在、自動車関連のモールドベース加工を中心に事業展開しております。

(株)倉元マシナリーは、これまで蓄積した自動加工機開発の実績をベースに製品の多様化と顧客層の拡大のため、部品加工や製缶板金加工<sup>2</sup>等の金属加工のインフラアップを検討しておりました。一方、三友商鋼(株)も、モールドベース本体の加工技術の深耕に加え、周辺の付加価値の高い金属加工技術の構築による顧客サービス向上を目指しておりました。

今回、このような両社の経営ニーズが互いに補完関係で合併のメリットが大きいと判断したため、上記 2 社の合併を決議いたしました。

当社は、これらのシナジー効果による金属加工事業の充実を通じて新たなモノづくり力を構築するとともに、グループ経営基盤の強化により倉元グループの一層の価値向上を図ってまいりたいと考えております。

1 モールドベース：金型の原材料となる鋼材（金型材）の総称。特にプラスチック射出成形向け金型材を「モールドベース」と呼称します。モールドベースは鋼材を金型メーカーの仕様に合わせ、切断加工・ネジ加工・ガイド用穴加工・彫り込み等の加工を行ったものです。

2 製缶板金加工：鉄などの金属の板から部品として複雑な形状を切り出し、それらを曲げて互いに溶接することで立体的な構造物を作り出す加工を言います。

## 2. 合併の要旨

## (1) 合併の主な日程

合併契約書調印	平成 18 年 11 月 8 日
合併契約書承認株主総会	平成 18 年 11 月 8 日
合併期日	平成 18 年 12 月 11 日
合併登記	平成 18 年 12 月 12 日（予定）

## (2) 合併方式

(株)倉元マシナリーを存続会社とする吸収合併方式とし、三友商鋼(株)は解散します。

### (3) 合併後の商号

存続会社である(株)倉元マシナリーの商号に変更はございません。

また、合併に伴い旧(株)倉元マシナリーの事業体を「本社・宮城事業所」、旧三友商鋼(株)の事業体を「埼玉事業所」と呼称変更いたします。

### 3. 合併当事会社の概要

(中間連結会計期間末現在)

商号	株式会社倉元マシナリー(合併会社)	三友商鋼株式会社(被合併会社)
主な事業内容	産業用機械等の製造・販売	モールドベースの加工・販売
設立年月日	平成10年(1998年)10月1日	昭和45年(1970年)4月21日
本店所在地	宮城県名取市愛島台1-4-9	埼玉県羽生市大沼2-30-2
代表者	菅山勝美	鈴木 聡
資本金の額	12百万円	10百万円
発行済株式総数	240株	324,000株
純資産	231百万円	9百万円
総資産	3,050百万円	562百万円
事業年度の末日	12月31日	9月30日
従業員数	16名	38名
主要取引先	(株)倉元製作所、エンジニアリング会社	金型メーカー
株主および持株比率 (平成18年11月8日現在)	(株)倉元製作所 70.8% 菅山勝美 29.2%	(株)倉元製作所 100%
主要取引銀行	(株)七十七銀行	(株)足利銀行
当事会社の関係	資本関係	-
	人的関係	被合併会社の役員のうち3名(代表者1名)が合併会社の役員であります。
	取引関係	部品等の金属加工の取引

### 4. 最近3決算期間の業績

(単位:千円)

決算期	株式会社倉元マシナリー(合併会社)			三友商鋼株式会社(被合併会社)		
	H15.12月期	H16.12月期	H17.12月期	H16.9月期	H17.9月期	H18.9月期
売上高	59,373	208,492	863,646	524,583	633,527	567,720
営業利益	3,115	-51,712	84,495	-2,842	-520	-2,704
経常利益	3,658	-51,352	82,324	-10,559	-6,988	-9,238
当期純利益	2,189	-38,330	56,843	-12,028	-7,278	-12,028
1株当たり当期純利益(円)	9,124	-159,710	236,849	-177	-121	-37
1株当たり配当金(円)	-	-	-	-	-	-
1株当たり純資産(円)	560,639	401,349	638,916	-1,811	-267	-12

### 5. 合併後の状況

- (1) 商号 株式会社倉元マシナリー(Kuramoto Machinery Co., Ltd.)
- (2) 事業内容 液晶ディスプレイ用ガラス基板の製造装置および付属品の製造・販売  
モールドベースの加工・販売
- (3) 本店所在地 宮城県名取市愛島台1丁目4番地の9
- (4) 代表者 代表取締役会長 鈴木 聡  
代表取締役社長 菅山勝美
- (5) 資本金の額 22百万円(平成18年11月8日現在の資本金の額12百万円に合併により増加する10百万円を加えたもの)
- (6) 総資産 3,612百万円
- (7) 事業年度の末日 12月31日

### 6. 業績に与える影響

当社業績に与える影響は軽微であります。

以上